



**・Tackle Guide**  
落とし込みサビキは当地で実績のある船宿仕掛けがおすすめ。アジ用のピンを130号のポリビシ、もしくは通常のアンドンビシでもOK。アジ仕掛けはハリス2号2本入り(2組み入り)をサービスしてくれる。

なら1〜2キロ級の青物を多少強引に巻き上げてもピクともしないが、当地は落とし込みで5キロ以上のカンパチや10キロ級のブリも上がっている。無理は禁物だ。ハリ掛かりした直後はそれほど引かなかつた魚が、数十メートル上げてから急に走り出すこともあるので慎重に巻き上げよう。

その後も1流し1投の展開でベイトの小アジは順調に掛かったが、本命の青物の食いは一段落。それでも飽きない程度にマトウダイや丸まる太ったサバなどが食ってきても上はにぎやかだ。10時過ぎ、右トモで強烈なアタリ。竿先がギューンと絞込まれ、きつめに調節したドラッグが滑ってラインが引き出される。慎重なヤリトリで海面に浮かせたのは当日最大4.5キロのワラサ。再び青物が回ってきたと喜んで後続がなく、船長は10



▲今シーズンは4〜5キロ級のワラサや10キロ級のブリも上がっている  
▼カンパチは1.5〜2キロ級が目立つ

# 落とし込みで青物リッシュ リレーのアジは良型ぞろい

◎三浦半島葉山あぶずり港発→三戸浜→城ヶ島沖 本誌編集部/内山高典 [Takatori Uchiyama]

西日本で人気の高い「落とし込み」。サビキ仕掛けで小魚を掛け、そのまま青物などの本命の泳層に落とし込んで食わせるダイナミックな釣りだ。近年は関東でもこの釣りが楽しめる船宿が増えており、そのうちの軒が三浦半島葉山あぶずり港の愛正丸だ。同船は周年のアジ五目船を看板に掲げ、アジのポイントにワラサやイナダ、カンパチなどの青物が回ってくるこの時期

限定で落とし込み&アジ五目リレー船を出している。取材日は12月26日、乗船者は7名。飯田孝弘船長の操船で定刻の7時に港を離れる。早朝のチャンスタイムは落とし込みでの青物狙い。目下のポイントは三戸浜→城ヶ島沖が中心で、根周りに滞留している小アジの群れに着いたワラサやイナダ、カンパチなどがターゲットだ。7時半過ぎ、城ヶ島の西沖



この日の早朝は潮が速く、船がアジの群れに着いている根周りのポイント上をすぐに通過してしまうため、潮回りして再投入を繰り返す1流し1投の展開に。3流し目に入った8時半、左トモで竿が曲がった。ギューンと絞込み込むような引きを竿のためかわし慎重に巻き上げる。上がったのは後検査1.8キロのカンパチ。船長がタモ入れて無事に取り込み成功。間を置かず右胴の間、左胴の間でダブルヒット。上がったのは1.5キロ級のカンパチ。この日皆さんが使っ

▼瀬着きのアジ狙いは30〜35センチ級の良型ぞろい



掛かったら、そのまま同じタナで待てばいいので厳密に言えば落とし込まない。すると、船内あちこちでダブルと小魚が掛かったアタリが竿先に伝わり、その直後、右ミヨシで竿がグイッと絞り込まれた。上がったのは1.5キロ級のイナダだ。続いて左トモでも竿が曲がり、同級のイナダを取り込み幸先のよいスタートとなる。

**刺身サイズのアジ連発**  
「ここは瀬着きのアジを狙います。ピシアジ仕掛けに替えてください。タナは底から5メートル、食えばデカイですよ!」とのアナウンスに皆さん期待を込めて投入。ほどなくして、左トモで35センチ級のアジをダブルで取り込んだのを皮切りに、船内各所で30〜35センチ級の刺身サイズが次つぎに上がる。ここで1時間ほど流している人は10尾ほどキープ。最後の1時間、船長はワラサが釣れたポイントに戻り、再び落とし込みで青物を狙う。水深65メートル前後、指示

ダナは底から3メートル。早朝は速かった潮が緩んだように、船長はポイントの上に船を停めるように操船して狙ったアタリが遠い。「サビキにアジが掛かっていても、しばらく待って青物が食わないときは、仕掛けを上げてアジを外して入れ直してください。最初に掛かったアジが暴れているときにチャンスです!」と船長のアドバイスが飛ぶ。すると、左トモでイナダが上がり、続いて同じ方が1.5キロ級のカンパチを取り込む。青物の捕食モードにスイッチが入ったのか、小アジを付けた泳がせ仕掛けを下ろしていた右ミヨシ氏の竿に大物らしきがヒット。慣れたヤリトリでグイグイ巻き上げていたが、残り20メートル付近で強烈に突っ込まれて痛恨のハリス切れ。続いて、船長のアドバイスどおり、落とし込みサビキでまめに手返しをしていた左胴の間と右胴の間氏の竿がギューンと引き込まれた。竿が激しくたかれ、二人とも慎重に巻き上げているのだが、これも巻き上げ中にハリス切れで

●船宿information  
三浦半島葉山あぶずり港  
**愛正丸**  
☎090-3683-0914  
(詳細は巻末の情報欄参照)  
▶料金=落とし込み&アジ五目リレー乗合 一人1万円(コマセ、アカタン付き)  
▶備考=予約乗合、7時出船。ほかアマダイ五目、根魚五目へも出船

飯田 孝弘 船長

バれてしまった。船長によると、活性が高いときはワラサやカンパチが2〜3尾同時に食ってくることもあり、そうなることと魚の重みで仕掛けの結び目が切れることがあるそうだ。まだまだ青物が食いそうな気配であったが、13時にタイムアップ。釣果は12〜38センチのアジが一人12〜28尾。落とし込みで1.5〜1.8キロのカンパチが0〜3本、1〜1.5キロのイナダが0〜2本、4.5キロのワラサが上がった。愛正丸では例年2月ごろまで落とし込み&アジ五目リレーで出船すること。強烈に突っ込む青物とのバトルと、手堅いアジをセットで楽しめるチャンスをお見逃しなく!

**知得! Tips and Tricks**  
**泳がせ釣りもOK!**  
▼泳がせ仕掛けはハリス14号前後1.5メートル、ハリはヒラマサ14号前後。オモリは120号と150号を用意し釣リ座や潮具合に合わせて使い分けよう

愛正丸は、オマツリしなければ船長の了承を得て2本竿でも楽しめる。泳がせ仕掛けも準備して、落とし込みサビキに掛かった小アジを海水を張ったオケで生かしておこう。リレーで狙う瀬着きのアジ釣りや、落とし込み釣りの一方で、置き竿で小アジを泳がせ青物やヒラメなど底魚を狙うこともできる。

◀小アジが上がってきたらオケに入れてエサ用にキープ